

【総会報告】

平成18年度役員総会が4月22日(土)午後3時30分から浦和地方庁舎会議室で開催され、平成17年度事業報告・決算報告、平成18年度事業計画・予算に続き、サイクリスト顕彰が行われた。

午後6時から会場を変えて懇親会が行われ、長沼会長も加わって今後の協会運営について話し合った。

平成17年度サイクリスト顕彰(敬称略)

SCA功労賞：小川光男

平成18年度行事予定

<自主事業>

4月22日	役員総会	: 浦和地方庁舎本館
5月14日	第21回センチュリーラン埼玉	: 協会指定コース
7月30日	第14回サイクルフェスタ IN 川口	: 川口オートレース場
9月23日	第48回埼玉県サイクリングラリー	: 富士見周辺
10月21日	第10回サイクリストの集い	: 埼玉県浦和地方庁舎
10月29日	第5回ハーフセンチュリーラン	: 利根サイクリングセンター
11月12日	第19回県民総合体育大会サイクルOL大会	: 上尾橋
12月9日	年末懇親会	: 未定
1月14日	第21回新春サイクリング	: 草加七福神
3月11日	協会創立50周年記念式典	: ブリック武蔵野
3月21日	自転車に乗れない人の自転車教室	: 与野公園他

<参加行事>

9月17日	東京シティサイクリング	: 東京・お台場
10月1日～2日	第51回全国サイクリングラリー	: 神奈川・横浜
10月1日～2日	第42回関東甲信越サイクリングラリー	: 神奈川・横浜
12月10日	埼玉県レクリエーション大会	: 坂戸

<SCA50周年記念事業の概要>

平成18年10月20日に協会創立50周年を迎えます。そこで50周年を記念して次の事業を展開します。

みなさま、ふるって参加してください。

- ぐるっと埼玉ポイント50：走りどころ、見どころ、食べどころ等を50ポイント指定しました。そのポイント周辺をサイクリングして、そのレポートを協会に報告してください。獲得ポイントの数によって賞品を差しあげます。
- 記念誌の作成：協会50周年のあゆみです。年表、SCAニュース、懐かしい写真を掲載します。
- 記念式典：創立50周年記念式典を開催します。多くの方の参加をお待ちしています。

○サイクルフェスタ開催

14回目を迎えたサイクルフェスタ I N川口が7月30日、川口オートレース場で開催される。オートレース場の空いている日に行くもので、日程が定まらないのがネックとなっているが、毎回参加のチームもいて3時間の耐久ランに挑戦する。今度は貴方もチャレンジしてみたいはいかがですか！！

【内容】1チーム3人以上で800mのバンク（オートレース用）を3時間で何周するかを争います。



○センチュリーランに202名が挑戦

第21回センチュリーラン埼玉は5月14日、202名がエントリーして協会指定コースに挑戦した。

前日まで雨模様の天候で開催も心配されたが、当日は雨も上がり、午後には日差しがまぶしいほどの五月晴れとなった。参加者は思い思いの気持ちで、各コースに挑戦した。今回は初回参加が多かったのが特徴であった。

本大会は競争ではなく自己への挑戦であり、交通信号や交通ルールを守って自己に挑戦するものである。大会が21回も続いたのは、役員をはじめとする関係各位の協力、そして参加者の大会に対する気持ちの持ちようだと思う。慣れが思わぬ事故を招き大会全てを台無しにすることさえある。同日行われた島根のサイクリング大会で1人のサイクリストが亡くなったという報道があった。

17年度も埼玉県は自転車事故ワースト1を記録した。この5年間で3度のワースト1である。1人1人がもっと交通ルールを守り、自己の責任において自転車に乗って欲しい。



≦事務局だより≧

■平成18年度の会員登録をしていない方は至急手続きを行って下さい。17年度会員へのニュース発送は今回をもって終了します。

■事務取扱は毎週水曜日（10:00～16:00）、第1・3土曜日（13:00～16:00）となります。ただし行事開催前の土曜日は閉局する日もあります。いずれもボランティア勤務なので、できれば事前に電話するか、協会ホームページのカレンダーにて確認してお出かけ下さい。

《編集後記》

□大型連休はどう過ごしましたか？センチュリーの試走をする人も多くいたと思います。またツーリングなどで出かけた方もいたでしょう。私は連休前に権兵峠を走りました（残念ながら車で）。昔サイクリングした中仙道をドライブしたのですが、まったく様子が変わってしまって残念でした。和田峠の旧道を通って力餅を食べようとしましたが閉まっていました。旧道は車も少ないので営業もままならないからかな？今回は駒ヶ根の光前寺のしだれ桜や高遠のコヒガンサクラを見ることができ感激です。私の退職祝いの旅行だったのですが、すべて支払いが私というのはどうも解せない日々でしたが、皆と一緒にいられたことだけでも幸せと思わずにはられない昨今です。